



学校法人永原学園

さんこう
児童クラブ通信

令和6年4月発行
— 第1号 —

【三光幼稚園】

TEL：0952-31-0753

【さんこう児童クラブ携帯】

TEL：090-7430-1312

♡ご入学・ご進級おめでとうございます♡

児童クラブが位置する多布施川の桜並木が満開の1日、そっと2階の部屋を覗いてみると、卒園児さん達が飛びついてきました。

卒園式の日、必ず会いに行くから！と約束をして別れたので、心待ちにしているのではと、思っていた訪問でした。他園からの入所児童も含め、新しい環境に戸惑うのは大人だって同じことです。私の役目は、進級した上級生との接点をつくることでした。1～2年前の園でのエピソードを披露して、後輩のお世話を頼んできました。僕は三光幼稚園じゃないないけどお世話するよ！と言ってくれたお友達もいて、とても嬉しくなりました。指導員が一人退職しましたが、これまでの交流のあった職員が後任として担当いたします。何かご相談こと等ある際は、遠慮なくお申し出ください。

今年度もよろしくお願ひ致します。

❀4月のおたのしみ❀

- 大学施設探検
- 色水作り
- 中庭でお弁当



4月の学童児童数

	3月末 在籍数	4月 新規人数	4月 退所人数	4月 総人数
1年生	12	6	0	6
2年生	11	1	0	13
3年生	1	1	0	12
計	24	8	0	31

○今年度は、桂木・藤戸が児童クラブを担当させて頂きます。送迎やサポートなどで他職員も子どもたちと関わる場合があります★色々な先生との関わりも楽しんでほしいと思っています！
1年間よろしくお願ひいたします。

児童の様子

ご入学・ご進級おめでとうございます(*^-^*)

4月に入り、新1年生や新規利用の友達に来てくれて一段と元気いっぱいの子どもたちです。「それどうするの？やってみよう！」と興味をもって友達の遊びを観察し、できる友達が「いいよ！」と快く受け入れ、教える関わりが見られ、子ども同士で遊びを進める力が育ってきていると感じました♡これから、クラブの人数が増えるので、色々な異年齢の友達と意思を伝えながら過ごすことを楽しめるよう、子どもたちとの会話でのやりとりを大切にしたいと思います！保護者の方には、いつも様々なご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。お迎えに来られた際、お子様のご家庭での様子を伺ったり、児童クラブでの姿や成長を伝えたりしながらやりとりできたら嬉しいです★
今年度も、どうぞ、よろしくお願ひ致します！

❀大学施設探検❀

春休みの期間は児童クラブで過ごす時間も長く、毎日何か楽しみを過ごせるよう、自由遊びを基本としつつ、合間に皆でできる活動を取り入れています★

今回は、「大学施設探検」を取り入れてみました！！

「何列並びで行く？」「水筒持って行こうかな！」とわくわく、ときどきしながら出発した子どもたちでした。



大学の机は繋がってるんだー！

エレベーターに乗ったり軽音楽部の演奏を聴くことができたり！色々な経験ができました(*^^*)



アンコール！！
(手拍子)

◆4月の目標◆

「児童クラブの生活に慣れ、友達との関わりを楽しむ」

新1年生や新規利用する子どもたちにとっては初めての環境や生活の流れになります。戸惑うことのないよう、サポートしつつ、子どもたちの交友関係におけるものは、なるべく見守り、必要に応じて声を掛けたり仲立ちしたりしていきたいと思っています。子どもたちの主体性を大切にしながら、子どもと一緒に楽しい児童クラブを作りたいです★

「いつもと違う」に気付く

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 講師 清水陽香

新年度が始まり、大きく環境が変わったお子さん、保護者さんも多いことと思います。また、通う場所は変わらなくても、クラスの先生や周りのお友だちの顔ぶれが変われば、それは十分に「新しい」環境です。新しい環境で、初めての何かに出会ったり気付いたりすることはとても素敵なことですが、同時にストレスにもなります。「ストレス」と言うと、嫌なことや苦手なことがある時に感じるものだと思われる方も多いかもかもしれません。しかし実は、嬉しいことや楽しいことでもストレスになることがあります。

「ストレス」は、心理学では一説として「身体的または心理的安定をおびやかすような事態の総称」と定義されます。難しく書いてありますが、「体や心がいつもと違う状態になる状況全般」だと思ってもらえば大丈夫です。ですから、ポジティブでもネガティブでも、強い心の動きはストレスの原因になります。あるいは、暑い／寒い、電気が明るい／暗い、音大きい／小さいといった物理的な刺激も同じです。こうしたストレスの原因になる物事を、専門的には「ストレッサー」と言います。

ストレッサーによって体や心がいつもと違う状態になると、人は何とかしていつもの状態に戻そうと、様々なサインを出します。不安や怒りといった感情的な反応や、頭痛や腹痛といった身体的な反応である場合もあります。このように、ストレッサーに対抗しようとして出てくる反応が「ストレス反応」です。私たちは、日々様々なストレッサーにさらされ、様々なストレス反応を示しています。ストレスを感じることは全く問題のないことです。ただし、ストレス反応が長く続いたり、強くなったりしてしまうと、病気になったり生活に支障が出たりします。早めに気付いて対処することがとても大事です。

いつもと違うことが起きやすい、つまりストレッサーが多い春は、子どもにとっても大人にとってもストレス反応が生じやすい時期です。これまでに自分とお子さんがどんなストレッサーに対してどのようなストレス反応を示してきたかを考えてみると、早めに気付く役に立ちます。さらに可能であれば、以前どのように対処したのか、ストレス反応の軽減に役立った方法は何だったかも思い出してみてください。

特にお子さんは、自分でストレス反応に気付くことが難しいことが多いです。いつもよりもう少しだけ様子を気にかけたり、生活のペースをあえて緩めたりすることで、ストレスに早めに気付いたり、ストレス反応を予防したりすることができます。また親御さん自身も、自分の体や心の状態に意識を向けてみてください。ストレスと上手く付き合いながら、気持ち良い春を過ごしていただければと思います。